



平成 20 年 11 月 12 日

各 位

会社名 イフジ産業株式会社
 代表者名 代表取締役社長 藤井 徳夫
 (JASDAQ・コード番号2924)
 問合せ先 常務取締役 総務部長 仁田坂 功
 (TEL 092-938-4561)

業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、平成20年8月11日に公表した平成21年3月期（平成20年4月1日～平成21年3月31日）の業績予想及び配当予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 21 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正（平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日）

（金額の単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	(百万円) 9,931	(百万円) 413	(百万円) 400	(百万円) 213	(円 銭) 38.35
今回修正予想(B)	10,361	220	206	98	17.66
増減額(B)－(A)	429	△193	△193	△114	――
増減率(%)	4.3	△46.7	△48.4	△53.9	――
(ご参考)前期実績 (平成 20 年 3 月期)	9,372	314	320	153	27.69

①売上高の修正

平成 20 年 7 月 16 日に「業務用液卵・冷凍卵の価格改定」を公表し、販売価格の改定を実施しています。その結果、価格改定による販売数量の減少とお客様の需要減退にともなう液卵使用量の減少も相俟って、販売数量が減少することが予想されます。その一方で、鶏卵相場（東京M基準値）が前年同期（4～9月）に比べ 23.0%（約 37 円）高くなっており、当社が当初予想した以上に高く推移したため、鶏卵相場に連動した液卵の販売単価が当初計画よりも高くなると予想されます。これらの要因を踏まえて売上高の予想を修正いたします。

②損益の修正

損益につきましては、上述の販売価格改定により、利益確保を最優先しました。その結果、販売数量の減少が見込まれます。また、当社の主なお客様である製菓製パン業界において、主原料の小麦をはじめ、卵・油脂・乳製品等の原材料価格の高騰によって、パン・菓子類が価格改定されたことで、消費が伸び悩むことが懸念されることや、パン・菓子類商品のサイズダウン等により、当社が原料として供給している液卵の使用量も減少すると予想されることから、当初予想した利益の確保が厳しくなったため、通期の業績予想を修正いたします。

2. 配当予想の修正

①修正の内容

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
前回予想 (平成20年8月11日発表)	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 10.00	円 銭 10.00
今回修正予想	—	—	—	5.00	5.00
当期実績	—	—	—	—	—
前期(平成20年3月期)実績	—	—	—	8.00	8.00

②修正の理由

当社は、株主に対する適切な利益還元は重要な経営目標と位置づけており、株主に対する利益還元としては、経営体制の強化や今後の事業展開を勘案し、配当性向25%~30%を目標としております。

しかしながら、上記のとおり当期純利益の減少が見込まれることから、誠に遺憾ではありますが、期末配当予想を1株当たり5円に減額させていただく予定です。

※本資料に記載している業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいて判断した見通しであり、これらは、今後の経済環境、業界環境、鶏卵市況の動向、競争状況等の変化により大きく異なる結果となる可能性があります。

以上